

国立文楽劇場 開場 40 周年記念

阿波と人形浄瑠璃と文楽

～吉野川の恵みで繁栄した芸どころ 徳島～

徳島産すだち
プレゼント

【日 程】 2024年11月2日(土)・3日(日・祝)・4日(月・振) ※最終日 13時終了

【場 所】 国立文楽劇場 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
1階ロビー / 2階ロビー



その昔徳島では、淡路島より伝来した人形浄瑠璃を地域の人々が鎮守の神に奉納していました。
この伝統は今日まで大切に継承され、徳島県には数多くの農村舞台が現存し、現在も人形浄瑠璃公演をしています。
今回は徳島県より、阿波人形浄瑠璃の魅力をお届けします。

人形師の仕事場展示

江戸時代から、阿波、淡路では人形浄瑠璃が盛んに行われ、多数の人形座があったことから、徳島では木偶制作が仕事として成立し、今日まで多数の優れた人形師を輩出しました。普段見ることが出来ない人形師の仕事場を、再現した展示スペースでご覧ください。



農村舞台襖絵展示

徳島県内の神社の境内には、人形芝居用の農村舞台が全国で最も多く残っています。農村舞台の特徴的な舞台機構が襖からくりです。人形芝居の背景に使うだけでなく、幕間に次々と襖絵を転換させて見せ、ひとつの演目として人気を博しました。

・襖絵 千景敷 (神山町教育委員会所蔵)



阿波木偶展示

神社の境内の農村舞台で演じられたことから、大きく、光沢のある塗りで仕上げたのが特色と言われる阿波木偶を展示。

・千歳・翁・三番叟・お弓・おつる・光秀 など



徳島物産展

古くから徳島(阿波)の吉野川周辺は自然がゆたかで、育まれた大地からの素晴らしい商品の数々。

・藍染商品多数・吉野川産すじ青のり
・阿波ういろ ・阿波晩茶 など



徳島県立 城北高等学校 民芸部ミニ公演

11/3(日) ※限定公演

徳島県立 城北高校 民芸部は1956年に創設された県内初の「阿波人形浄瑠璃芝居」に取り組む部活動です。国指定登録文化財の人形会館を拠点に、これまでプロの人形遣い1名、太夫部屋1つ、人形座3つを輩出するとともに、国内外で数多くの公演活動を行っています。



【問い合わせ先】

一般社団法人 イーストとくしま観光推進機構

住所：徳島県徳島市八百屋町2-7 徳島センタービル7階

TEL：088-678-2811

URL：https://www.east-tokushima.jp/

【主催】 徳島市

【共催】 徳島県

【運営】 一般社団法人 イーストとくしま観光推進機構

【協力】 株式会社 AwaWave / 特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会 / 神山町教育委員会事務局

徳島県立城北高等学校 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会 / 人形師 吉田尚行

【物産協力】 株式会社サンマック / 有限会社 和田の屋 / 有限会社 本藍染矢野工場 / 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷